

学校教育目標 ふるさと小野を誇り、互いにつながり高め合う小野っ子の育成

校報 **笑顔で成長する小野っ子** 令和4年9月22日 No.4

重ねてきた努力 つないでいく絆

これは、今年の運動会の児童会スローガンです。運動会に向けて、子どもたちは暑い中練習を積み重ねてきました。その成果を存分に發揮できた運動会だったと思います。総合練習では、赤組が勝っていました。しかし、本番で白組はあきらめることなく力を発揮して優勝しました。また、紅組も最後の綱引きまで力を出し切り、好勝負を演じました。全校生によるソーラン節は、暑い中力を振り絞って踊りました。最後まで熱中して取り組む姿は、とてもすてきでした。4・5・6年の子どもたちは、係の仕事にきびきびと取組みました。走って準備や片づけをする姿、下級生をやさしく先導する姿に高学年としての自覚を感じました。先輩から受け継いだ伝統を見事につないでくれました。

豊岡市では、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに身につけるよう取り組んでいます。運動会は非認知能力を身につけさせるために、絶好の機会です。紅白対抗では、チームの勝利に向けて全力を出して競技しました。コロナ対策のために声援を送ることはできませんでしたが、仲間の勝利を信じて力いっぱいの拍手で応援しました。時には思うようにいかなくて、腹が立ったこともあるかもしれません。途中であきらめそうになったこともあるかもしれません。そんな時でも、自分の感情をコントロールして、最後まであきらめずにやり抜きました。そのことが成長へつながります。今年も子どもたちは、そんな素敵な姿を見せてくれました。

大事なのは、この後です。運動会で身につけた非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を、普段の生活に生かしてほしいと思います。何事にも最後まであきらめずに取り組むこと。感情をコントロールすること。友だちと力を合わせて取り組むこと。これからの中学校生活で、そんな姿を見せてくれることを楽しみにしています。



全国学力・学習状況調査結果分析と改善策

全職員で全国学力・学習調査の結果分析を行い、改善策を考えました。今必要とされる学力が身につくよう、授業改善を進めていきます。(○今身についている力、△課題)

	結果分析	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えている。 ○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができている。 ○漢字を文の中で正しく使うことができている。 △文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題がある。 △登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに課題がある。 △登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を正しく捉えさせるために、文章を声に出して読ませる。 ・言葉で伝えてもらったことを、自分で改めて文章化する学習を行う。 ・色々な文章に触れる。言葉を情景としてイメージする学習を行う。 ・言葉集め、同音異義語、類語等の学習(国語の意味調べ、自主学習にテーマを設定して取り組む等)を行う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○被乗数に空位のある整数の乗法の計算ができる。 ○表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。 ○図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している。 △示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。 △伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用い、未知の数量の求め方と答えを記述することに課題がある。 △示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の説明を参考に説明する場面において、型を使った説明の仕方を丁寧に指導する(同じ言葉使える部分と変えなければならない部分をおさえる)。 ・立式した後、言葉で式の説明をする練習を繰り返す。ペアで説明しあう。 ・説明しあうだけでなく、よりよい説明の仕方を考えるペア活動をする。 ・もとになる量×割合=比べる量になることを基本に、どんなときもここに立ち返って考えるようにならせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。 ○自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。 △実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。 △予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正答だけでなく、誤答から得られる結果も思考する等、誤答から考える場面を設定する。 ・問題の趣旨や回答する際に必要な条件・キーワードをつかむために、問題文や資料(グラフや表など)に線を引く・印をつける。 ・複数の条件から分析・解釈しながら思考したり内容を記述したりする。 ・考えをまとめたり記述したりする際には、必ず①理科用語を使い ②結果(資料)の中から③必要なキーワードや数値を用いて 説明や記述をさせる。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり学習時間が30分以上」【やり抜く力】【自制心】、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」「【やり抜く力】【自制心】、「学級みんなで話し合って決めしたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」【協働性】、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」の割合は100%である。(【】は、豊岡市でたいせつにしている非認知能力を表す) △「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」【協働性】、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上読書をする」【やり抜く力】【自制心】、「朝食を毎日食べる」の割合は50%である。 ※読書は、全ての学力のもととなる。隙間時間を使って読書する習慣を身につけさせるとともに、家庭の協力を得て身近に本のある環境を整える。朝食の大切さを伝え、毎日朝食を食べる習慣を身につけさせる。 	

10月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
5	水	夢ふうせん、S P 昼休み	20	木	通学指導
6	木	通学指導	21	金	10.20 メモリアル集会
7	金	全校朝会、委員会	26	水	代表委員会
10	月	スポーツの日、小野コムニティ運動会	27	木	オープンスクール(道徳の公開授業)、マラソン大会
12	水	13:15 1~5年下校、15:45 6年下校	28	金	児童集会(児童会引き継ぎ)、クラブ活動
14	金	児童集会、安全の日			